

スクールトピックス

本格的な選挙は初めてで緊張したけど、いい経験になりました。投票できるようになったら、私にとって一番メリットがある候補者は誰なのか、しっかり考えて投票したいです。

事務は得意ではありませんが、自分なりに一生懸命頑張りました。選挙でミスをしたくないようにするためには、一人一人が責任感を持って取り組むことが大事だと感じました。

模擬選挙で投票する生徒



猪苗代高で模擬選挙

18歳選挙権控え

猪苗代高校で3月2日、模擬選挙「未来の福島県知事選挙」が行われました。ことし6月から選挙権が18歳に引き下げられるのに合わせて、県選挙管理委員会が実施しました。

同校の生徒100人とふたば未来学園高猪苗代校舎に通う1年生9人が参加。候補者役の福島大生4人による政見放送を聞いた後、本物の選挙と同じ手順で投票しました。

生徒たちは、町選挙管理委員会職員の指導の下、投票事務や開票作業も体験しました。



若林朋香さん 古川さやかさん
(いずれも2年) ※学年は3月2日現在

【VOICE】
選挙事務と投票を体験した

笑顔でこんにちは

あかりちゃんの名前には、「家族を明るく照らす、明かりのような存在になってほしい」というパパとママの願いが込められています。

阿部 あかり ちゃん

平成27年2月生まれ
～酸川野
良平さん・美香さん夫婦の長女



大好きなパパ、ママと一緒に笑顔で「ハイ、チーズ！」

朝ドラが大好きで、毎日、ママとおばあちゃんと一緒に見ているというあかりちゃん。主題歌が流れると早足にテレビのそばへやって来て、テールを叩いて喜びます。「最近、なんちゃってベビーサインでいろいろできるようになりました」と話すのは、ママの美香さん。「パパに投げチューは？」と美香さんが言う、「ちゅ♡」と笑顔で投げキッス。パパの良平さんの顔も思わずほころびます。

おじいちゃんとおばあちゃんも、そんなあかりちゃんがかわいくて仕方がないようで、一緒に遊んだり、お散歩に行ったり、とてもかわいがってくれるのだとか。

家族みんなの愛情を一身に受けて、あかりちゃんの笑顔は、今日もひときわ輝いています。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62) 2111

イベントレポート

子どもたちが大迫力の羅漢図など鑑賞

町内の児童が「村上隆の五百羅漢図展」に招待される

昨年10月からことしの3月にかけて、六本木ヒルズ(東京都)の森美術館で開かれた、「村上隆の五百羅漢図展」。この企画展に町内の児童らが招待され、初公開された巨大な五百羅漢図などを鑑賞しました。

村上さんが「東日本大震災のために描いた絵を東北の子どもたちに見てほしい」と招待。村上さんが代表を務めるアート企業「カイカイキキ」と日本財団の助成により、日頃はじまりの美術館を利用している児童14人とその保護者らが招待されました。



五百羅漢図をじっくり鑑賞する児童

子どもたちは、高さ3メートル、長さ100メートルもある巨大な絵の前に、圧倒されながらも目を輝かせ、描かれた羅漢たちをじっくりと見て回りました。

招待を受けた諏訪慎己さん(猪苗代小4年)、律さん(同2年)兄弟は、「とにかく大きい絵だったけど、細かいところまで描いてあるのがすごい。動物の絵が隠れていたり、変わった絵があったりして面白かった。またこんな美術館に来てみたいですよ」と笑顔で話しました。

キラリ光る おらが村

春を告げる伝統の舞

西久保彼岸獅子

西久保地区に伝わる町指定の重要無形民俗文化財「西久保彼岸獅子」が3月20日、西久保公民館で披露され、同地区の住民の皆さんが春の訪れを告げる舞を楽しみました。

太夫獅子、雄獅子、雌獅子の三体一組が、お囃子に合わせて美しく勇壮な舞を披露。会場に詰めかけた子どもからお年寄りまでの観客を魅了しました。

西久保彼岸獅子は100年以上の歴史があり、住民の無病息災を祈るだけでなく、かつては武士の士気を高めるためにも奉納されていたといわれます。戦争により一時中断したものの、1950年頃に復活させ、西久保彼岸獅子保存会が毎年、春彼岸の中日に奉納しています。現在まで彼岸獅子が伝わっているのは、町内では西久保地区のみです。

蟹沢地区から見に来たという渡部マサノさんは「舞もお囃子も息が合っていて素晴らしい。貴重な伝統芸能をこれから守り続けてほしい」と笑顔で会場を後にしました。



▶彼岸獅子のトリを飾る、太夫獅子の「弓舞い」

【VOICE】



西久保彼岸獅子保存会
渡部 正人 会長

メンバーたちが仕事を持っている中で、練習時間の調整など、苦労すること多いですが、みんなで力を合わせて、この彼岸獅子を後の世代に伝えていきたいですね。

町ホームページで西久保彼岸獅子の動画が見られます